（答弁案） 教育長答弁	主管課	教育振興部　学校改築施設管理課	
	共管課		
くまき　貞一	公　明	代表	1

１（２）アイウエ

私からは、滝野川第三小学校の火災対応について順次お答えいたします。

まず、仮移転先について、滝野川分庁舎は現在、区役所として利用しており、給食室や校庭、特別教室等、学校機能を備えていないことから、区役所機能を移転させたうえで、仮校舎として再整備するには４年かかるために断念しました。

同様に他の区有施設についても検討を行いましたが、教育活動を継続的かつ安全に実施するための環境を早期に整えることが困難であったことから、一日でも早く、全校児童が集まって教育活動を送ることができる学校として、旧清水小学校を活用する判断に至りました。

仮移転先となった旧清水小学校については、ハード・ソフトの両面から、児童の安全確保を最優先に準備を進めてまいりました。

施設面では、王子消防署による現場検査にて消防設備が適切に作動することを確認したとともに、消防署の協

力のもと、全教職員が参加した自衛消防訓練も実施し、救助袋や屋内消火栓の操作訓練を行うなど、緊急時に備えた体制の強化を図りました。

　また、バス通学についても児童の安全を最優先に、乗降場所や運行方法の確認を進めるとともに、８月下旬には、児童及び保護者に参加いただく試走会２日間、実施するなど、通学経路や乗降時の動線、所要時間等を確認し、保護者の不安軽減を図るなど、安全かつ円滑な通学に向けた準備を進めてまいりました。

　９月１日仮校舎への登校初日の全校集会において、校長から児童に対してバス通学の感想を聞いたところ、楽しかったという声も数多く聞かれました。

　一方で、バス酔いがある児童もいることから、引き続き、注意深く、丁寧に対応していく必要があると考えています。

（答弁案） **教育長答弁**	主管課	教育振興部　学校改築施設管理課		
	共管課	財政課・営繕課・契約管財課		
くまき　貞一		公　明	代表	1

１（３）アイウ

次に、建替えについて順次お答えいたします。

区の財政への影響については、これまでの学校改築事業と同様、補助金や特別区債、基金等の活用を検討し、一般財源への影響を可能な限り抑えてまいります。

また、今後の学校改築事業やリノベーション事業についても、事業全体への影響を最小限に抑えるよう、中期計画改定の中で、検討してまいります。

建替えにあたっては、一日も早い学校再建を目指し、従来の設計施工分離方式に加え、設計施工一体方式を含め、事業期間短縮に繋がるあらゆる手法についても検討しております。

設計施工分離方式では、地域や学校関係者の意見を反映しやすい一方で、事業期間が長くなる傾向があり、設計施工一体等の方式では、同時並行的に進めることで事業期間の短縮が期待できる反面、事業者選定等のルールが課題となります。

（答弁案） 教育長答弁	主管課	教育振興部　学校改築施設管理課		
	共管課	財政課・営繕課・契約管財課		
くまき　貞一		公　明	代表	1

なお、コストについては整備方式のみで優劣が決まるものではなく、工期やリスク分担、建設費の動向などを踏まえ、総合的に比較検討してまいります。

地域及び保護者との合意形成については、学校の早期再建を進める上でも、保護者や地域の皆様の理解と協力は不可欠です。

このため、説明会や改築レター等を通じて適時適切に情報提供を行うとともに、早期再建の観点から、従来実施してきたワークショップ等の手法について工夫を図り、子どもたちの意見を適切に反映しながら、効率的な合意形成を進めることで、設計期間の短縮に繋げて、迅速な学校再建と合意形成の両立を図ってまいります。

（答弁案） 教育長答弁	主管課	教育振興部　学校改築施設管理課		
	共管課	教育政策課、教育指導課		
くまき　貞一		公　明	代表	1

１（４）アイウエオカク

次に、実践的な避難訓練及び防火・避難対策の強化について順次お答えします。

まず、救助袋等の避難器具については、設置訓練を全区立学校で実施するための経費として、本定例会の補正予算に計上しており、予算成立後は速やかに準備を進め、今年度後半には消防署等の協力を得ながら、全校で訓練を実施してまいります。

また、より実効性のある訓練を推進するため、来年度は救助袋の設置訓練に加え、屋内消火栓を実際に使用する訓練も実施できるよう、検討を進めております。

火災発生直後に実施した緊急点検では、学校施設の防火管理者の選任・解任手続き等、消防計画に係る届出の一部に不備があり、速やかに改善を図ったところです。

今後、学校施設における安全対策として、先に述べた避難器具の設置や屋内消火栓等を利用した訓練を実施するほか、教員を対象とした職層別の防火・防災研修を実施するなど、ソフトの対策を中心に、必要に応じて改築

やリノベーションを待たずに実施できるハード面の対策についても、今後検討してまいります。

なお、小学校においては児童が自力で避難できることを前提として避難経路が確保されていることから、現時点で、すべり台型の避難器具を設置する必要性は低いものと考えております。

また、今後設置される外部有識者を含む検証会議での議論や検討結果を踏まえ、学校防災マニュアルの改定など、区立学校全体の安全管理及び危機管理体制の見直しを行う必要があると考えています。

今後は、日々の学校施設の巡回点検はもとより、防災意識の向上や事故防止のための服務研修を必須とするなど、東京都などにも働きかけていく予定です。

今回の火災は、児童や保護者の皆さまをはじめ、多くの方々に大きな不安とご負担をおかけする結果となり、大変重く受け止めております。

滝野川第三小学校の再建に当たりましては、子どもたちや保護者の皆さまの思いに寄り添いながら、次期学習

（答弁案） 教育長答弁	主管課	教育振興部　学校改築施設管理課		
	共管課	教育政策課、教育指導課		
くまき　貞一		公　明	代表	1

指導要領を見据えた安全で質の高い教育環境の実現を目指してまいります。

　区といたしましては、この経験を一校だけの課題として終わらせるのではなく、今回の教訓を真摯に受け止め、安全管理体制や危機管理の在り方を不断に見直しながら、区立学校全体の安全性向上と教育環境の充実に取り組み、今回の経験を決して風化させることなく、未来を担う子どもたちの命と学びを守るため、全力を尽くしてまいります。

（答弁案） 教育長答弁	主管課	教育振興部　教育総合相談センター		
	共管課	課		
くまき　貞一		公　明	代表	1

１（４）キ

次に、児童の心のケアについてです。

心のケアについては、火災発生当日から、最優先事項として捉え、児童のみならず、保護者や教職員に対しても、様々な関係機関とも連携し、有効と考えられる、あらゆる対応を実践してまいりました。

火災直後から、厚生労働省が推進する「子どもの心の診療ネットワーク事業」の中央拠点病院に指定され、東日本大震災等の大規模災害においても、子どもの心のケアを主導してきた、国立成育医療センターから基本的な対応方針についての情報提供を受け、対応してきたこともあり、現在は順調に経過していると認識しています。

９月からはスクールカウンセラーが毎日常駐し、教育総合相談センター心理士も学校訪問を行う体制を整え、細かな状況観察に努め、子どもたちはもちろん、教職員がいつでも相談できる環境を構築しています。

（答弁案） 教育長答弁	主管課	教育振興部　学校改築施設管理課		
	共管課			
くまき　貞一		公　明	代表	1

１（５）イウ

次に、今後の見通しについてです。

区といたしましては、何よりも一日も早い学校再建の実現に全力で取り組んでまいります。

そのため、新たに基本・実施設計委託に係る補正予算を計上するとともに、併せて債務負担行為を設定させていただきました。

通常であれば完成まで約５年を要するところ、工期の短縮を検討し、保護者の皆様には令和１３年春頃の開設を目指すと説明してまいりましたが、さらに、現在の２年生が新校舎で卒業式を迎えられるよう、あらゆる方策を検討しているところです。

滝野川第三小学校のできる限りの早期の再建に向けて、スピード感を持って進めてまいります。

なお、樫の木幼稚園の仮移転につきましては、今回の火災による影響はありません。

以上、お答え申し上げました。